

# 初の高校総体に闘志

## 陸上小樽の松浦さん、吉田さん

28日に九州北部4県で開幕した全国高校総体(インターハイ)の陸上競技に、小樽市内から桜陽高2年の松浦ほのかさん(16)と、潮陵高3年の吉田紗奈江さん(18)が出場する。2人とも初のインターハイ出場だけに、大舞台に向け闘志を燃やしている。

松浦さんは、6月の全道大会のやり投げで

準優勝し、全国切符を手にした。小学校時代は野球少女だったが、中学から陸上大会に出場するようになり、高校入学と同時にやり投げを始めた。

右足のけがで4回の手術を受けたが、懸命の練習だけが克服。「初のインターハイなので、挑戦者として多くのことを学びたい」と張り切る。

一方、800㍎に出場する吉田さんは、両親と双子の姉も陸上部という陸上競技一家で、小学4年から陸上を始めた。

1年の夏にすねを疲労骨折し思うように走れない時期もあったが、全道大会では6位に入賞し、全国出場を決めた。

「まずは予選突破を目指す。最高の走りを見たい」と、最初で最後のインターハイに気

合を入れる。陸上競技は30日から大分市内で始まる。(小野聡子)



初の大舞台へ向け意気込む松浦さん(右)と吉田さん